

# 2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

## 1 事業の成果

### (1) 経済的困窮者に対する食料品・日用品等物資の受入・配給事業

2022年3月末での登録寺院数は1,795カ寺（前年比+193）、登録団体数は566団体（前年比+58）となりました。支援を受ける月間の子どもの数はのべ23,703人（前年比+6,488人増）となり活動の規模は広がっています（昨年度と数値の取り方が変わったため参考値）。新型コロナウイルスの影響もあり、事務局から直接支援をしている家庭数が5,943世帯（2021年3月末時点では1720世帯）と約4倍となり、助けを求める声が急増しました。

### (2) ひとり親家庭等の経済的自立や子どもの貧困問題に関する啓発事業

2021年度は、自治体と連携したガバメントクラウドファンディング（ふるさと納税型寄付）を実施、田原本町と天理市あわせて約1,000万円を集めました。大規模支援に合わせ直接支援家庭向け調査を3回、団体向け調査を1回実施、加えてインパクトレポートを発行、またフリーペーパー「てばなす」第5号を部発行しました。

コロナ禍の影響で講演数は減少したものの、厚生労働省社会・援護局での勉強会、多摩美術大学の講義やコープこうべの講演にお声掛けいただくなど、新たなご縁が増え幅広く啓発活動を行うことができました。オンラインを主体とした自主的な活動説明会や交流会も継続し、新たな試みとして紙媒体と連携させた形での報告会（計2回のべ524人参加）を実施しました。

### (3) 学習支援や居場所づくり等子どもの発達・育成に関する事業

支援を要する子どもたち等に笑顔と学びを届ける「おてらおやつ劇場」事業を実施しました。具体的には、外部からの依頼により団体で計2上演、登録寺院からの依頼により13カ所で計17上演、また自主公演として2カ所で計上演、合計17カ所で21回の上演を実施しました。そのうち19回は、昨年クラウドファンディングによって製作した新作を上演しました。コロナ禍において外部交流の少なくなった子どもたちが笑顔になる時間を持つことができ、また文化的体験を届けることができました。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1) 経済的困窮者に対する食料品・日用品等物資の受入・配給事業	全国の寺院を拠点に、経済的に困窮する家庭やその支援を行う団体等に寺院に供えられた食料品・日用品などを届ける。	随時	・事務所 ・全国寺院	・事務局20人 ・ボランティア165人 ・全国1,795寺院 ※寺院は不特定多数	月間 約30,000人 ※親1名子2名で算出	42,863
(2) ひとり親家庭等の経済的自立や子どもの貧困問題に関する啓発事業	講演・勉強会・執筆などを行い、ひとり親家庭等の自立問題や子どもの貧困問題についての啓発を促す。	随時	・事務所 ・その他会場 ・オンライン	・事務局20人	不特定多数	10,634
(3) 学習支援や居場所づくり等子どもの発達・育成に関する事業	人形劇及び紙芝居等の上演を通して、国内における文化的貧困の解決に取り組む。	随時	・事務所 ・その他会場	・事務局20人	不特定多数	2,837